



東日本ユニオンにいがた

<http://niigatachihon.yukigesho.com/>

JR東日本労働組合新潟地方本部

2025年11月10日発行

第17号（通巻第377号）

発行者：星山 圭 編集者：組織部

2025年度年末手当 全社員一律 3・7ヶ月分

JR労働者の力を
集め実現しよう！



申3号・2025年度冬期に関する申し入れ団体交渉

今冬期に向けた課題について 多くの点で労使の認識を一致

新潟地本は10月21日、申3号・2025年度冬期に関する申し入れの団体交渉を行い、昨冬期の検証結果を2025年度冬期の取り組みに反映させるために議論を行いました。具体的な取り組みについては別途説明になるとしながらも、多くの点において労使で認識一致を図ることができました。

凍結対策 必要に応じパターンダイヤも

架線凍結が予想される場合は、対策として越後線の柏崎駅～吉田駅間をパターンダイヤで運行するように求めました。

支社側は、指令としては線路の状況を踏まえれば柏崎駅～吉田駅間ではパターンダイヤとしなくても、前日手配で対応できるという認識を持っているとしました。

ように車両運用を確保するように求めました。

支社側は、昨年は落雷によるSIV故障により運用ができなかった状況も含めて、万全の体制で検証に取り組んでいきたいとして、昨年よりもカッターパンを装着した車両を増やす考えを示しました。

越後川口駅 雪による起動不能対策実施へ

上越線・越後川口駅上り本線での持ち込み雪による起動不能対策を講じるよう求めました。

支社側も過去の交渉を通じて問題との認識を持つていた上、より良い対策を検討し進めているとしました。

その上で、最終的に詰めている段階であり、意志決定した後に詳細について別途説明するとして、長岡駅南側構内は、MR除雪を本線同様優先的に行うよう求めました。

支社側は、本線を除雪したとしても南部構内が除雪されないという事は認識しているとして、降雪状況をみて長岡統括センター

介入による列車遅延防止のため氷結解除スプレーを搭載するよう求め、要求通りに解氷スプレー等を活用し対応していくとの回答を受けました。



◆ E653系側引戸の雪

介在による列車遅延防止のため氷結解除スプレーを搭載するよう求め、要求通りに解氷スプレー等を活用し対応していくとの回答を受けました。

車掌の誘導による起動確認について担当行路の休養時間確保の観点から負担を緩和するよう求めました。

支社側は、前回の交渉でも組合側から意見を頂いたとして、休養時間の確保という観点を含めて総合的に勘案しながら現場と調整中であるとしました。

◆ 運休情報を早急に社員が把握できるよう体制を構築するよう求めました。

支社側は現場からも声が上がっているとして、対応については冬期の取り組みの中で示したいとの考えを示しました。

その上で、電報手配のあり方については対策会議での決定事項を速やかに現場に知らせる方法をブラッシュアップし、社員へしていきなさいとしました。

ワンマン列車の急遽の行先変更時 より確実な取扱いへの見直し求める

申6号 新潟地本は10月24日、申6号・キハ110系及びGV・E400系の系統番号設定に関する申し入れを提出しました。

古い系統番号一覧表をE400系において急遽の行先変更が発生した原因としていたにも関わらず、「変更後の行き先」の取扱いについて新潟地本は、9月30日に2024年度申第15号「キハ110系及びGV・E400系の系統番号設定に関する申し入れ」の団体交渉を行いました。

交渉の中で支社側は、現在の統一した取扱いを決定した経緯について、「車両に搭載された古い一覧表に基づき、乗務員が誤った系統番号を入力したこと、お客さまが降車できない事象が発生した対策として決定した」との説明を行いました。

横浜地本で 新たな仲間が加入！



新たな仲間と共に
がんばろう！



■申6号 申し入れ項目

1. キハ110系及びGV・E400系において急遽の行き先変更が発生した際、行き先系統番号がある場合は行き先系統番号を使用する取扱いとすること。

2. GV・E400系の行き先番号一覧表を車両に搭載すること。

多くの疑義の声が寄せられています。

新潟地本は10月24日、申6号・キハ110系及びGV・E400系の系統番号設定に関する申し入れを提出しました。